

教科(科目)	芸術(音楽1)	単位数	2単位	学年(コース)	4 学年
使用教科書	教育芸術社 『MOUSA 1』				
副教材等	啓隆社 『Music Note』				

1 学習目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

2 指導の重点

- ①仲間と一つの音楽を作り上げる活動を通して、協調性を育てます。
- ②様々な作品に触れることで音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てます。
- ③多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫して表現する能力を育てます。
- ④多様な音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞する能力を育てます。

3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の文化的・歴史的背景の関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。 ・創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したものと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図を持ち、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

4 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。			
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	曲想と、音楽の構造を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じた上で、解釈したり価値を考えようとしている。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために技能を身に付け、歌唱、器楽、創作している	・音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質を感受したうえで、どのように表すかについて、音楽意図を持ち、音楽の美しさを味わいながら、工夫して表現しようとしている。	・音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽に対する関心をもって、主体的・協働的に音楽の課題に取り組もうと
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・授業内での小テスト ・実技テスト ・成果発表 ・提出物 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業中の発言、発表の取り組み ・創作での工夫された取り組み ・小テストや、実技テスト などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業中の取り組み方、歌唱や器楽での姿勢 ・課題の提出 などから、評価します。

5 学習計画

月	単元名	授業時数	教材名	学習活動(指導内容)	評価の観点	評価方法
---	-----	------	-----	------------	-------	------

4	発声基礎	2		・発音法、発声法、歌唱法により、曲にふさわしい歌い方や、身体の使い方などの技能を学ぶ。	a, b	課題の提出 実技テスト
	ソルフェージュ	1	ソルフェージュ コンソネ	・歌唱能力及び音程を鍛え、リズム感を養う。	a	
	楽典 歌唱 (1)	1 2	Music Note 校歌 「翼をください」他	・音符、休符や音階、調等を学ぶ。 ・1～3年で親しんだ曲をより深く味わう。	c a, c	
5	歌唱 (2)	4	「負けなで」 「Lemon」	・リズムの特徴を生かし、曲の雰囲気や曲想に合うように又、曲想と歌詞との関わりを理解して歌う。	abc	発表
	器楽 (1)	4	「天国と地獄」 「coffee」他	・アーティキュレーションを身に付ける。 ・共演者の音を聴き合いながら、輪奏や二重奏をする。	ac	
6	歌唱 (3)	3	「見上げてごらん夜の星を」	・二重奏の重なり合いを感じ取り、発音、子音を意識して歌う。	ab	実技テスト
	器楽 (2)	1	「見上げてごらん夜の星を」 「ザナルカンドにて」	・共演者の音に耳を傾けながら、アンサンブルをする。	ab	発表
		3			・曲のイメージに合った二重奏をする。	a b
7	器楽 (3)	3	「星に願いを」	・ハンドベル奏法を身に付け互いの音をよく聞き合い、一体感のある演奏をする。	b, c	発表
	鑑賞 (1)	2	「天使にラブソングを2」	・音楽の素晴らしさ、新しいことに挑戦することの大切さを感じ取る。	c	レポート
	歌唱 (4)	1	「Memory」	・歌詞の内容を理解する。	c	
9	歌唱 (4)	3	「Memory」	・拍子や調の変化を感じ取り、英語の語感を生かして歌う。	a, b	実技テスト
	器楽 (4)	2	「Coromioben」	・リズム、旋律、強弱などに注目し表現を深める。	a, b	発表
		4	「第三の男のテーマ」	・ギターの奏法を身に付け、メロディーと伴奏に分かれてアンサンブルする。	a, c	
10	器楽 (5)	4	「クリスマスイブ」	・弦をしっかりと押さえて演奏する。	a, b	実技テスト
	歌唱 (5)	2	「虫のこえ」	・歌詞の情景を思い浮かべ言葉の語感を生かし強弱を意識して歌う。	a, b	
11	創作 (1)	2	オノマトペ	・言葉のリズムを生かしながら、発音や発生、構成を工夫する。	b, c	発表
	器楽 (6)	2	「サザエさん」 他	・ドラムの奏法を覚え、8ビートをする。	a, c	
	創作 (2)	2	「クリスマスイブ」	・音のつなげ方やフレーズのまとまりに気を付けてリズムを工夫して旋律をつくる。	b, c	

12	創作 (2) 歌唱 (6)	2 4	「クリスマスイブ」 「クリスマスイブ」他	・歌詞に描かれている情景や心情と曲想の関わりを理解して歌う。		発表
1	器楽 (6)	6	アンサンブル	・編成やメンバーを組み、各グループで選曲、構成、編曲をし演奏する。	c	
2	器楽 (6)	6		・共演者の音を聴き合い、より良い演奏にする。	a, b, c	テスト
3	器楽 (6)	4		・発表に向けて演奏する。	a, b	発表

計 70 時間 (50 分授業)

6 課題・提出物等

- ・ワークの提出があります。
- ・グループ発表があります。
- ・創作 (オノマトペと旋律) の提出があります。

7 担当者からの一言

器楽を演奏する楽しさ、難しさを感じるとともに、他人と共に一つの音楽を作り上げる活動を通して、より他人の気持ちがわかる人になってほしいと思います。また、皆さんが普段耳にするような J-POP や、初めて出会う曲を通して歌うことの楽しさを体感してほしいと思います。(木村)